

2025年12月期第3四半期 決算説明補足資料

株式会社アルファパーチェス

2025年 11月 13日



本日のアジェンダ

01. はじめに：当社親会社アスクルのランサムウェア感染による当社への影響
02. 2025年12月期第3四半期累計期間の実績
03. 本日公表の通期業績見通しおよび配当予想の詳細

当社では、四半期連結財務諸表に対する監査法人によるレビューを受けておりません。また、本資料には、当社の業績の見通しや将来に関する計画などが含まれております。これらに関する数値などは、現時点の当社の仮定に基づくものであり、その実現を確約、保証するものではありません。今後、様々な要因により、実際の数値などが本資料の記載と著しく異なる可能性があります。また本資料は、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は、ご自身の判断にてお願いいたします。

01. 当社親会社アスクルのランサムウェア感染による当社への影響

01-1. 当社の事業セグメントと主要顧客

FM事業

- 商業施設の修繕



- 商業施設の清掃



- 各種工事、保守・点検他



- 店舗内装資材・看板 購買代行



MRO事業

- 工場備品・現場の消耗品



- 作業工具・作業用品



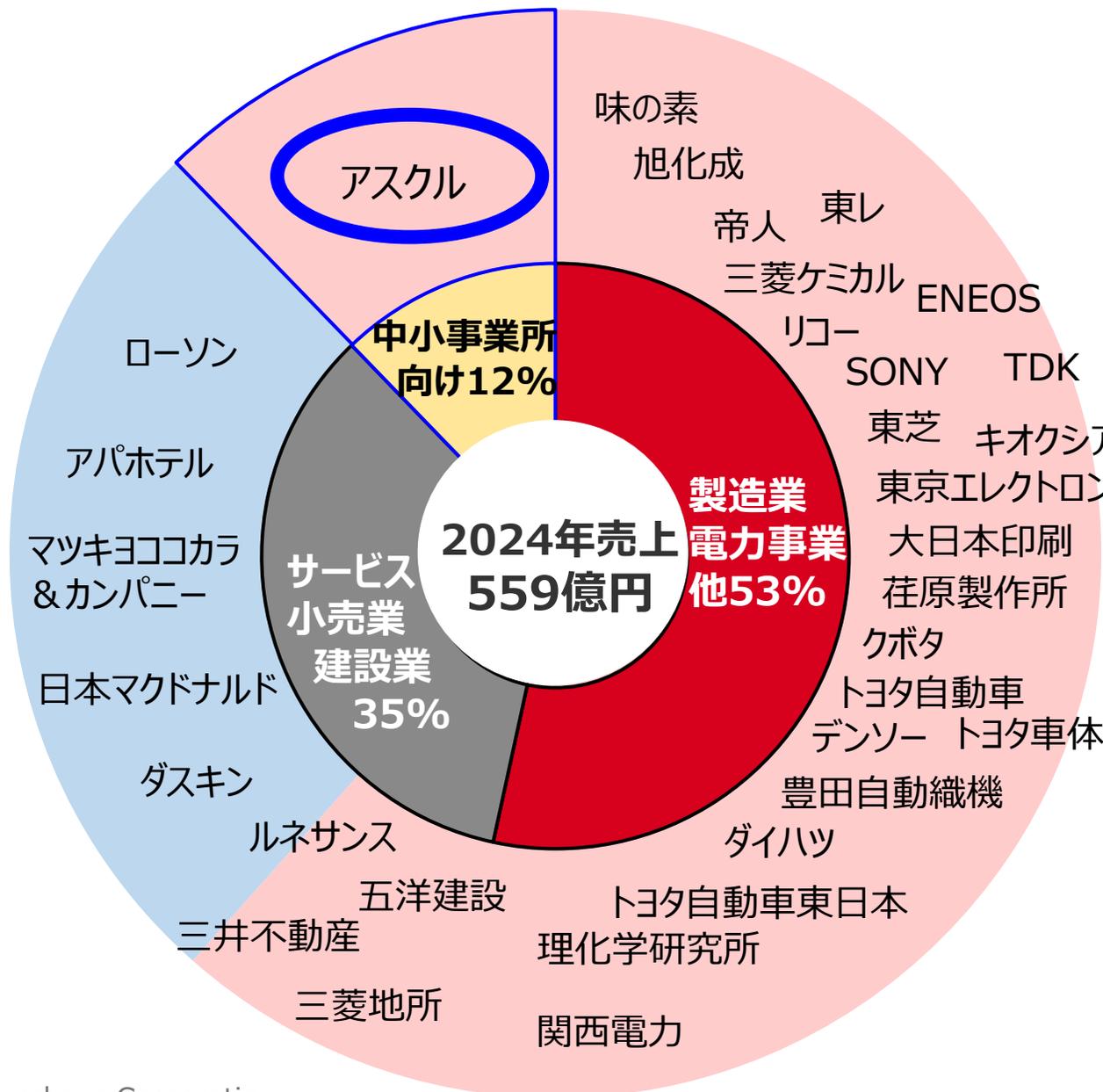
- 安全用品



- 研究備品・試薬・部品



- 事務用品・O A 機器・家電・書籍



01-2. 当社とアスクルとの取引関係と取引が停滞している部分

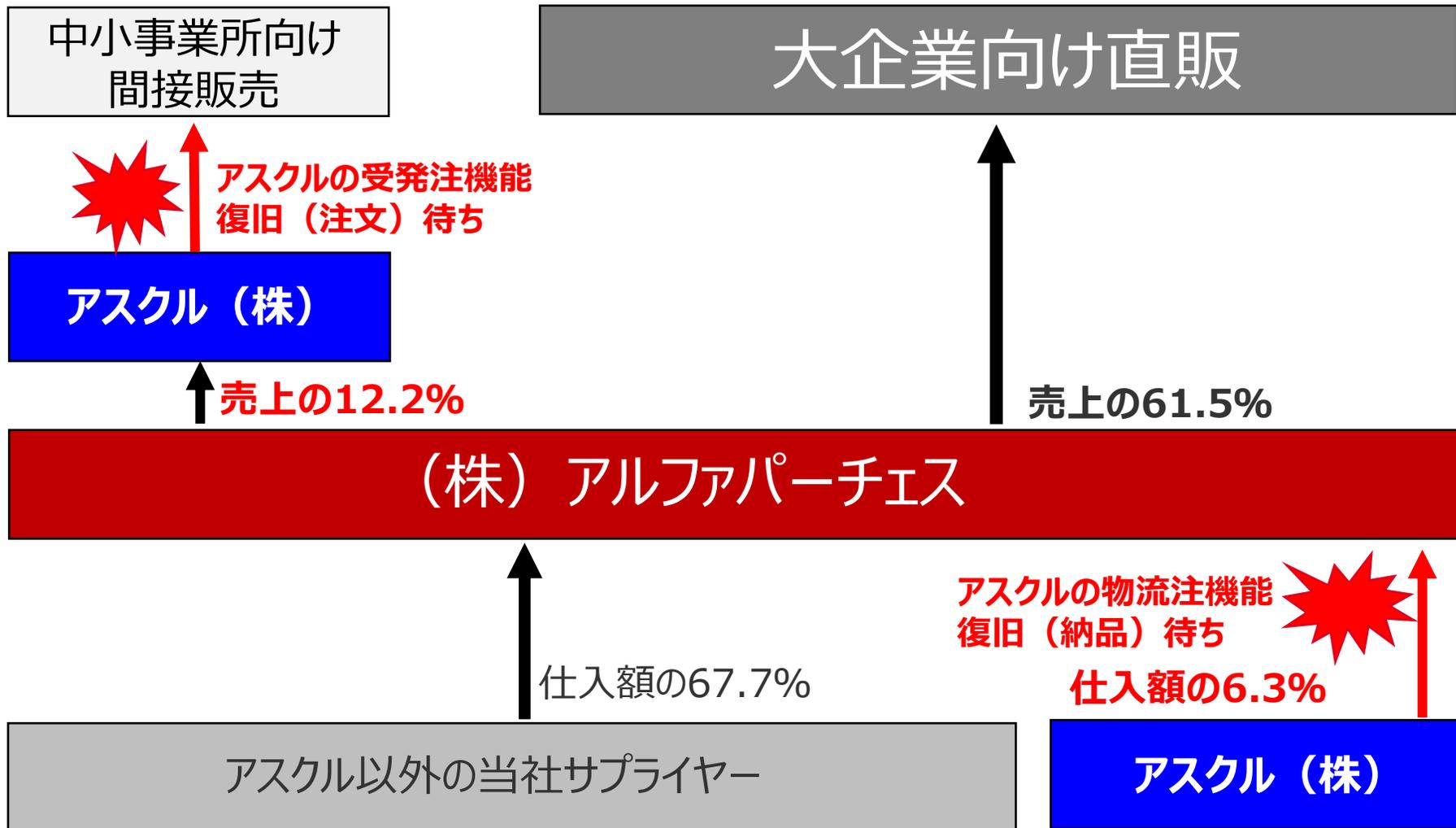
F M事業
売上の26.2%

MRO事業 売上の73.7%

※10月19日に発生したアスクルの
ランサムウェア被害の当社への影響

アスクル経由の売上は
「ビズらく」からの清掃の
受託のみ

アスクルからの仕入なし



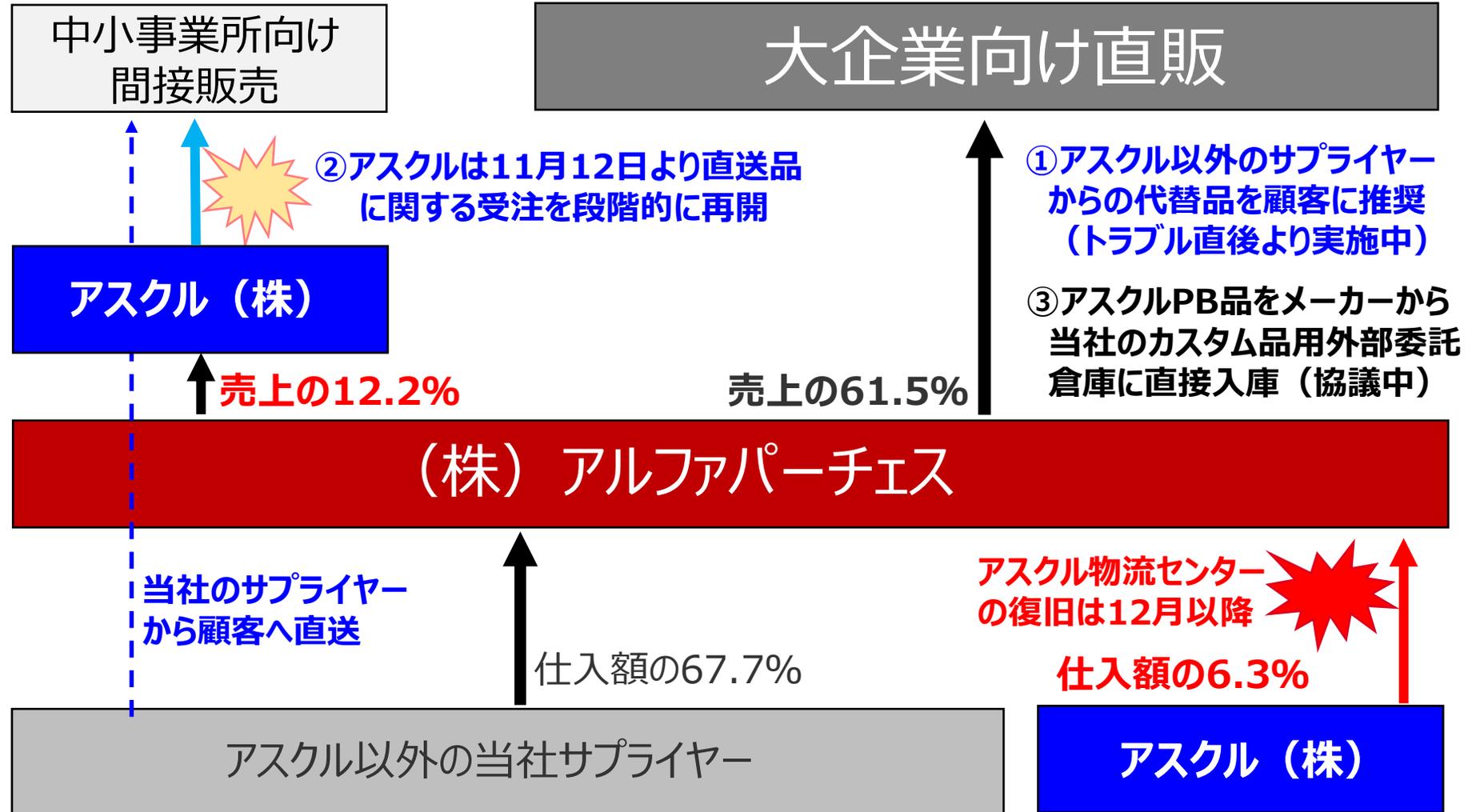
01-3.アスクルとの取引再開、または代替策の検討・実施状況

F M事業
売上の26.2%

MRO事業 売上の73.7%

アスクル経由の売上は
「ビズらく」からの清掃の
受託のみ

アスクルからの仕入なし



01-4.2025年12月期の業績および配当見通しの修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	61,975	1,510	1,500	1,050	107円80銭
今回修正予想 (B)	59,500	1,500	1,500	1,050	107円80銭
増減額 (B - A)	△2,475	△10	0	0	
増減率 (%)	△4.0	△0.7	0.0	0.0	
(参考) 前期実績 (2024年12月期)	55,952	1,242	1,227	865	88円75銭

※アスクルのランサムウェア被害に対するリカバリ計画の進捗により、数字が変動することをご理解ください。

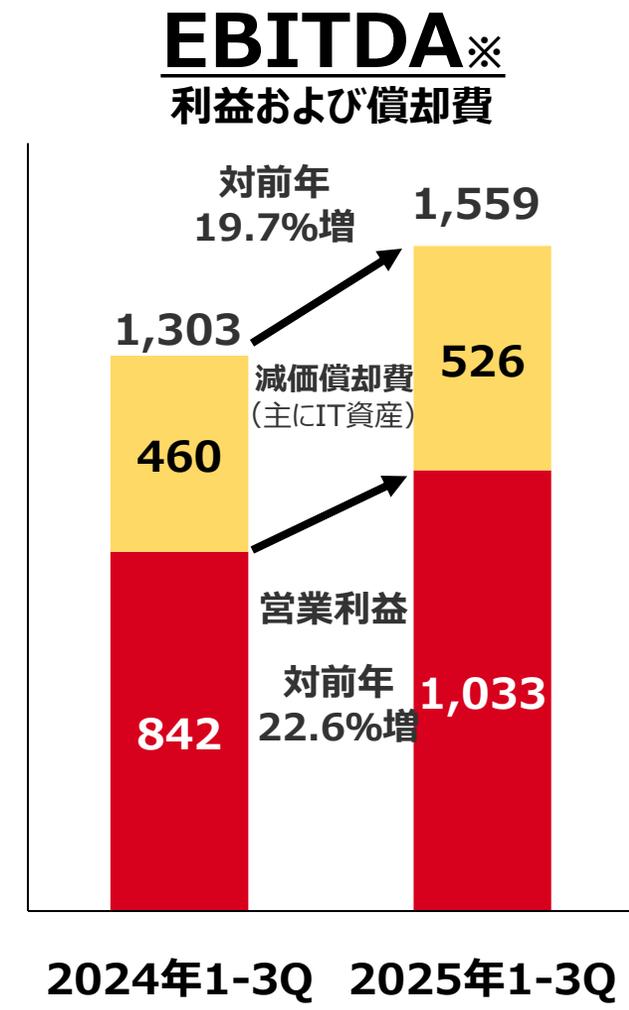
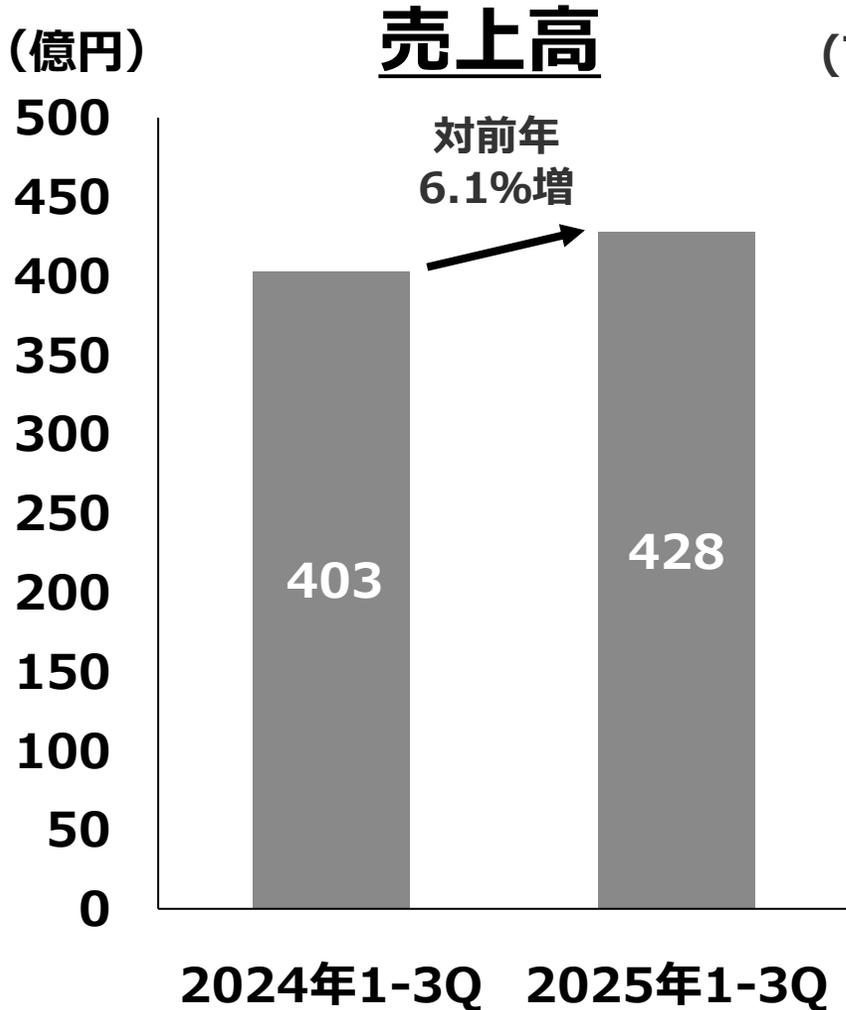
	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	0円00銭	35円00銭	35円00銭
今回修正予想	0円00銭	37円00銭	37円00銭
当期実績	0円00銭	35円00銭	35円00銭
前期実績 (2024年12月期)	0円00銭	27円00銭	27円00銭

(注) 期末配当金の予想の内訳には記念配当5円00銭含む

02. 2025年12月期第3四半期累計期間の実績

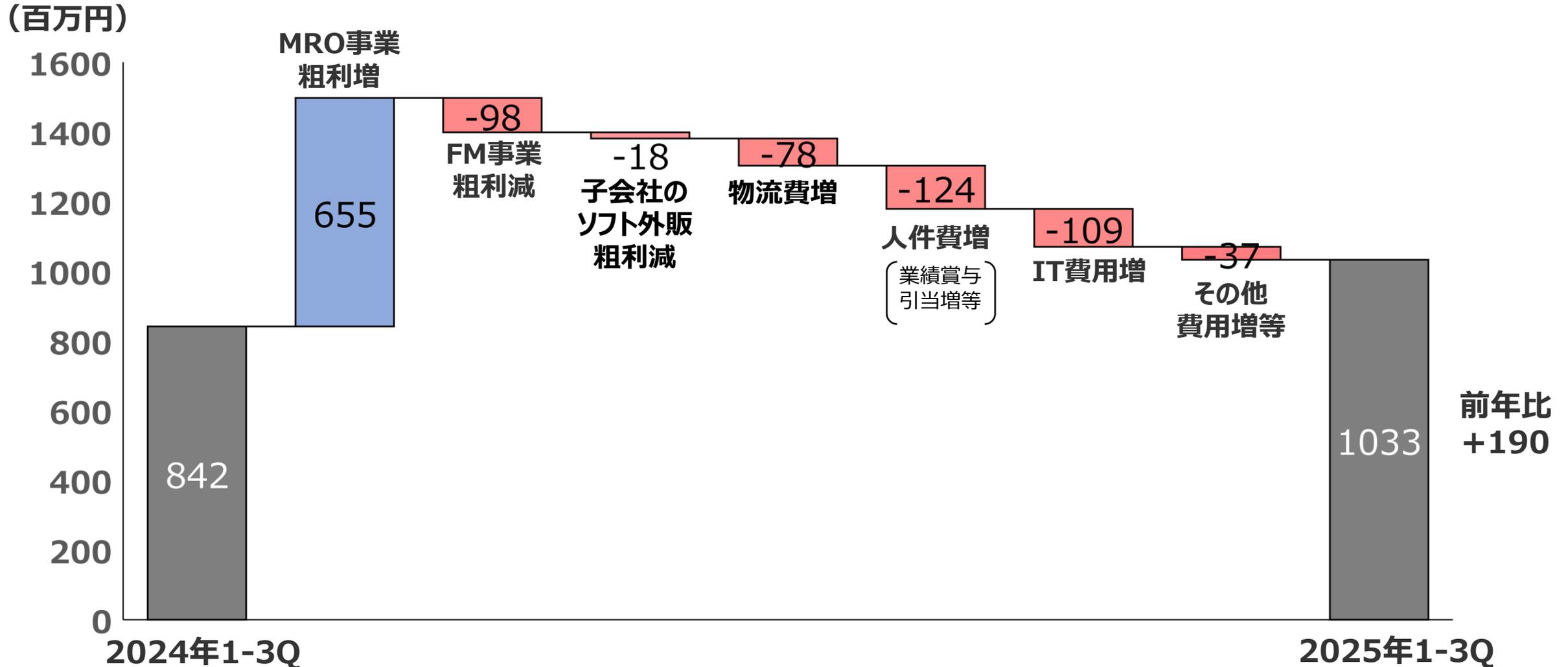
02-1.2025年12月期 第3四半期の売上高および利益

増収増益継続。利益率項目の改善が顕著



02-2. 営業利益の前年同期比増減要因

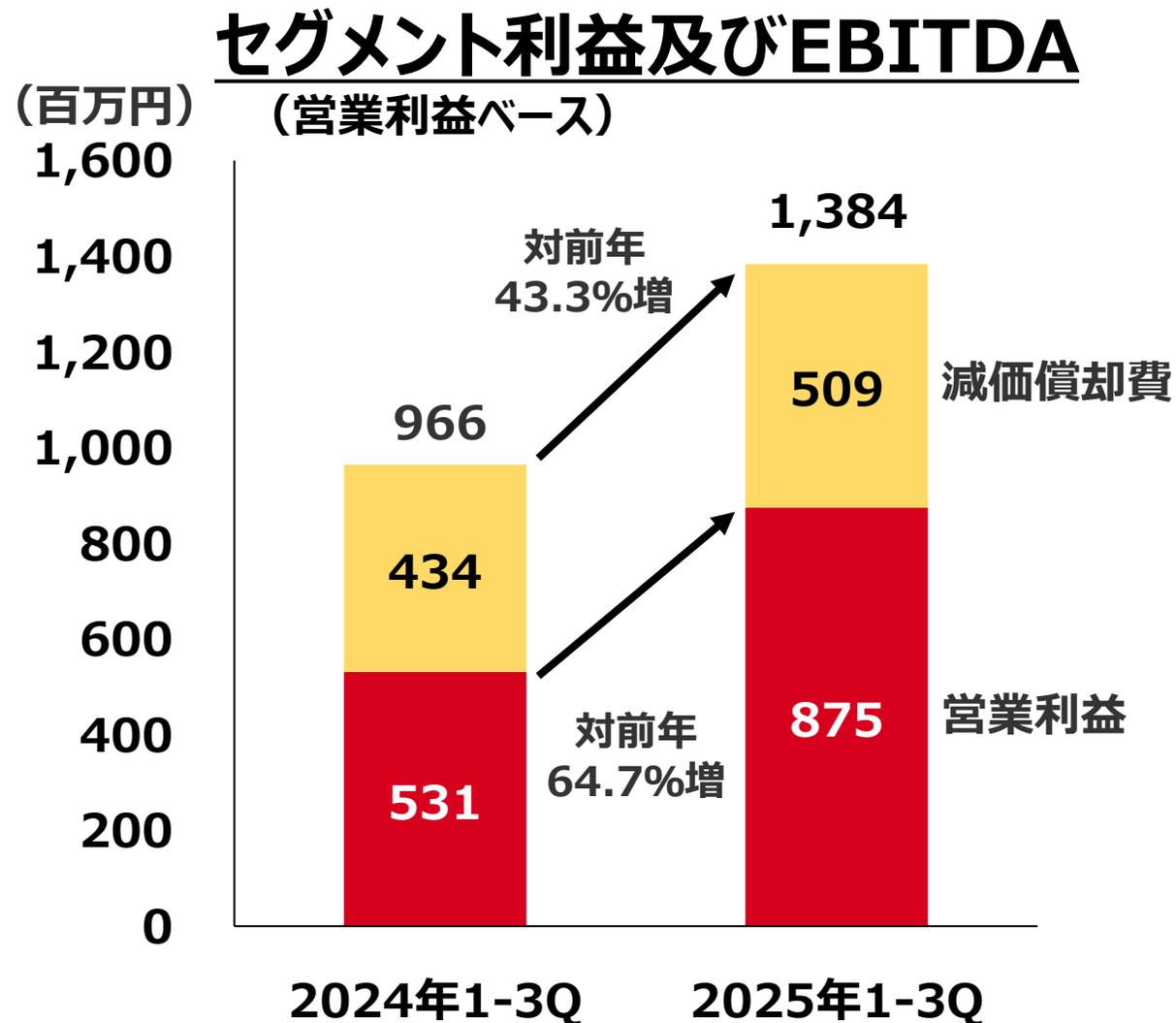
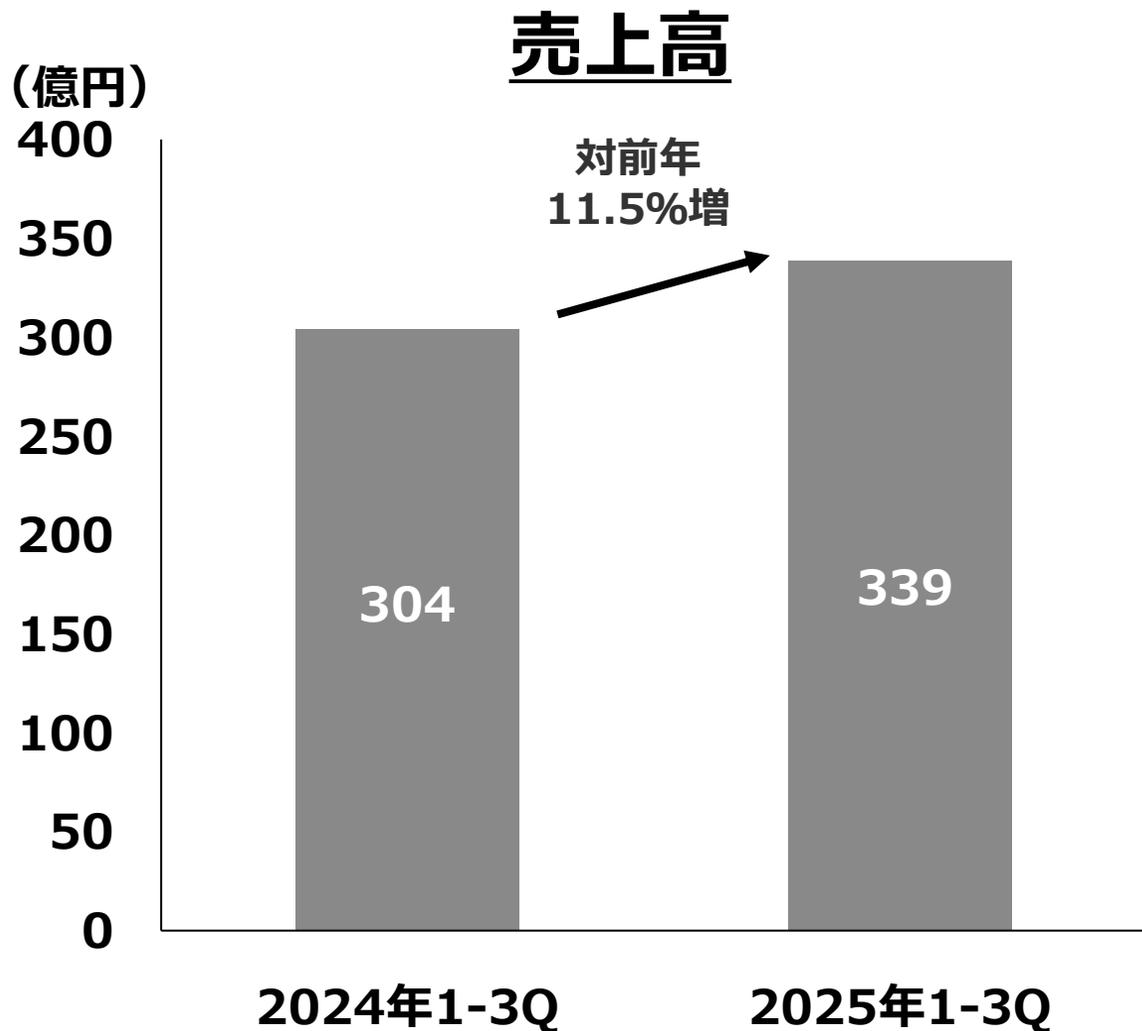
MRO事業の粗利増が各種費用増等を吸収



※12月決算
※金額は小数点以下切捨て

02-3. MRO事業の売上高、利益、およびEBITDA

無限カタログの販売単価引き下げ効果で売上は伸び悩むが、粗利率改善効果で利益大幅増

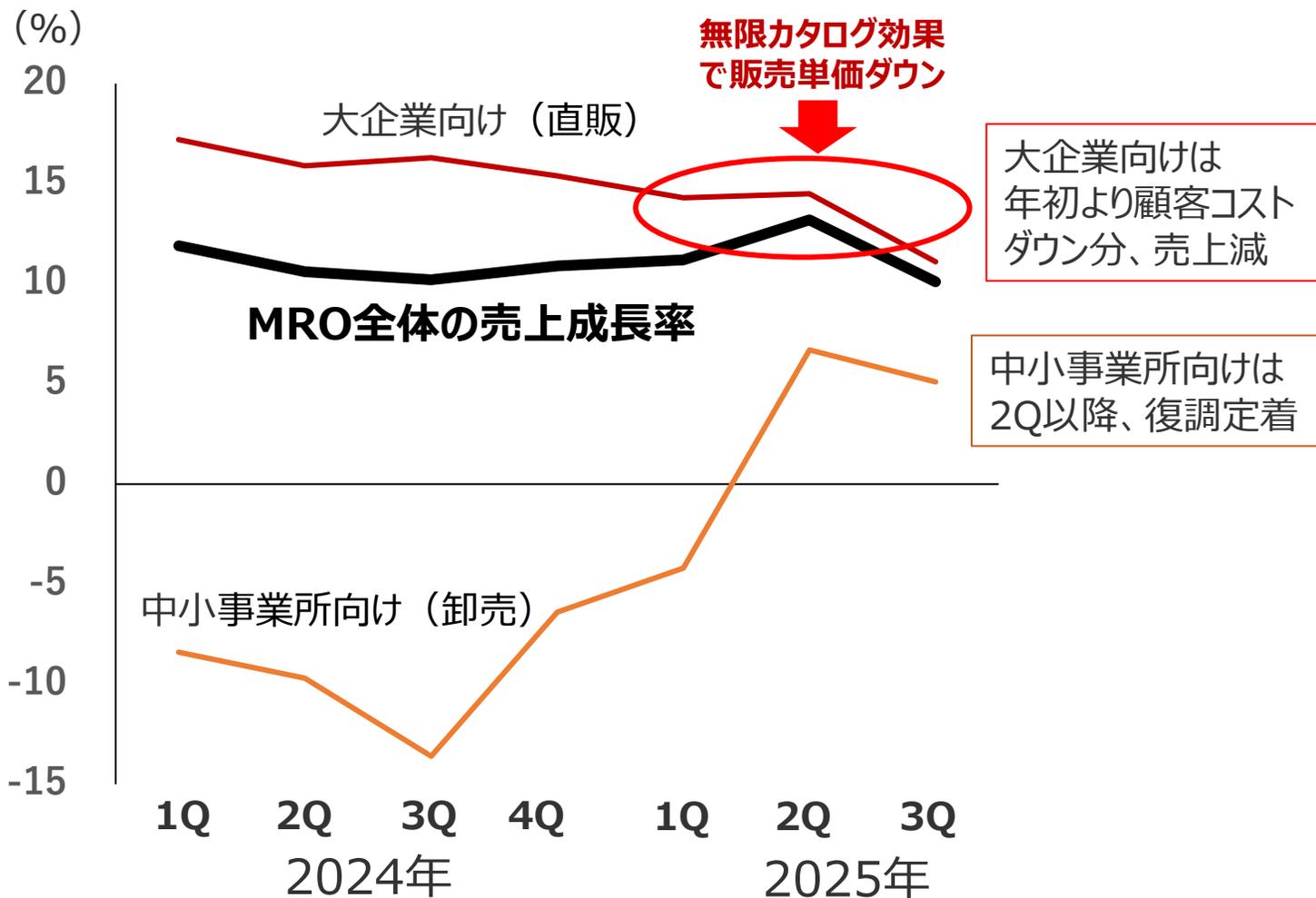


※12月決算

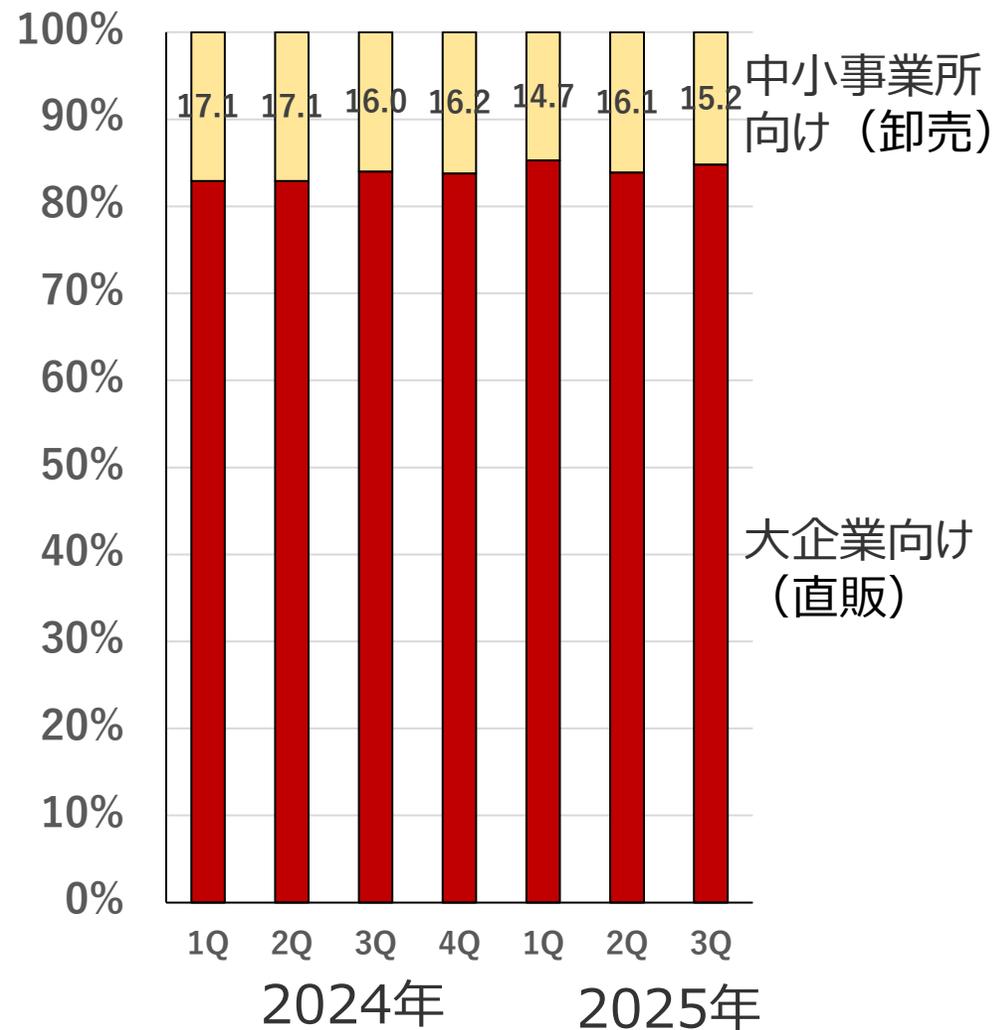
※金額は小数点以下切捨て、伸び率は四捨五入表示

02-4.MRO事業の成長率の内訳と売上構成比

MRO売上成長率（前年同期比）の内訳



MROの販路別売上構成比

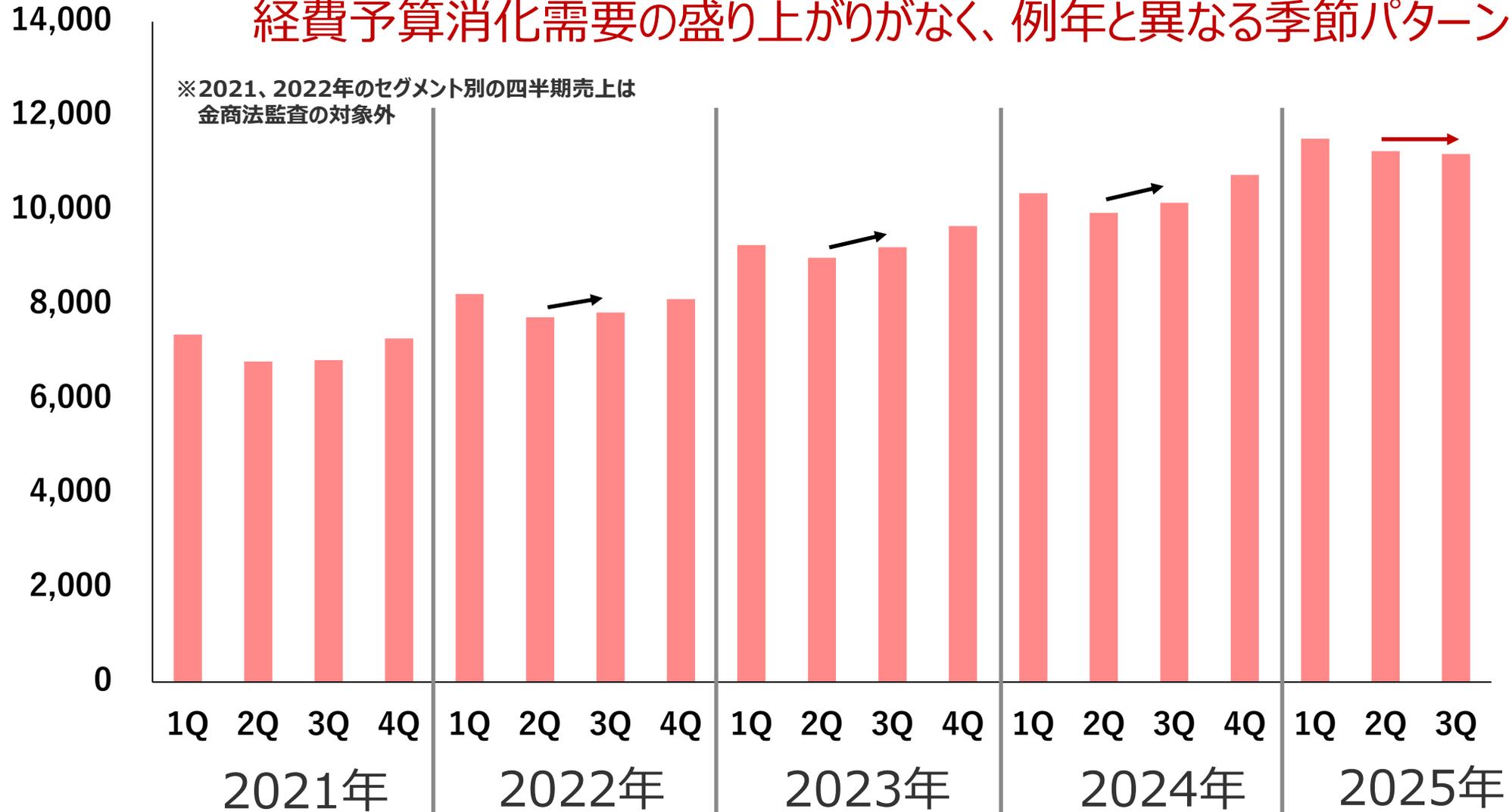


※販路別寄与度 = 販路別売上の前年同四半期比増減額 ÷ MRO売上全体の前年同四半期実績

02-5. MRO事業の売上の季節性

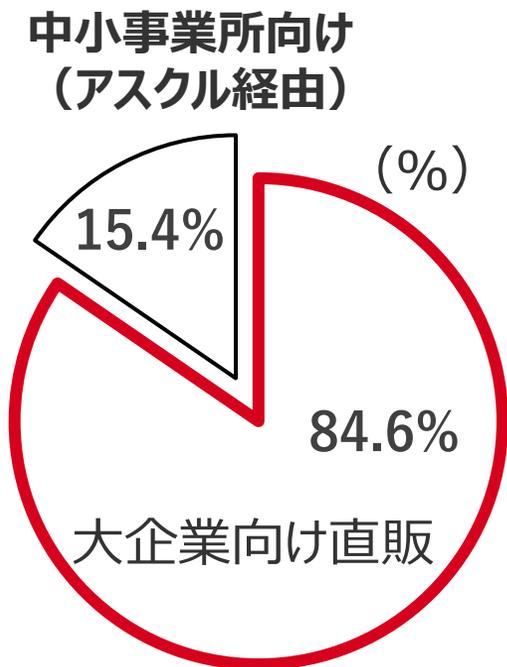
今年の3Q（7-9月）は、大企業顧客の9月末（上期末）の経費予算消化需要の盛り上がりがなく、例年と異なる季節パターン

※2021、2022年のセグメント別の四半期売上は
金商法監査の対象外



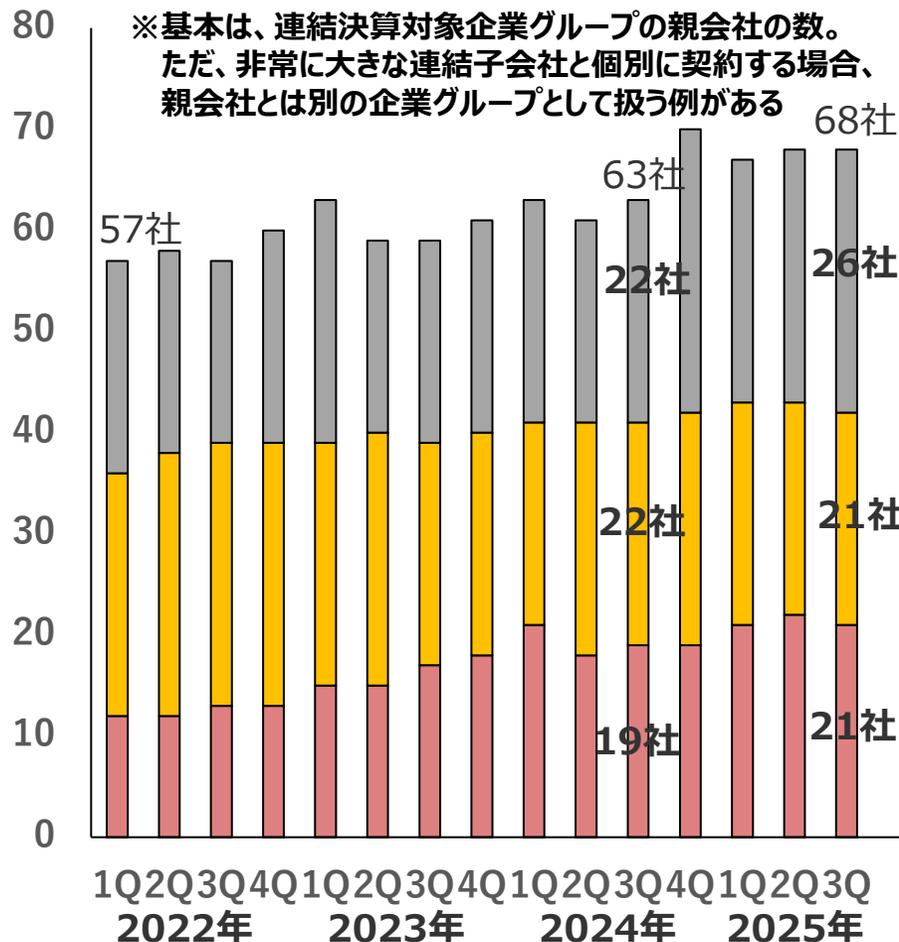
02-6.MRO販売の売上構成と主要顧客グループ数の変化

2025年1-3QのMRO全体の売上金額構成比

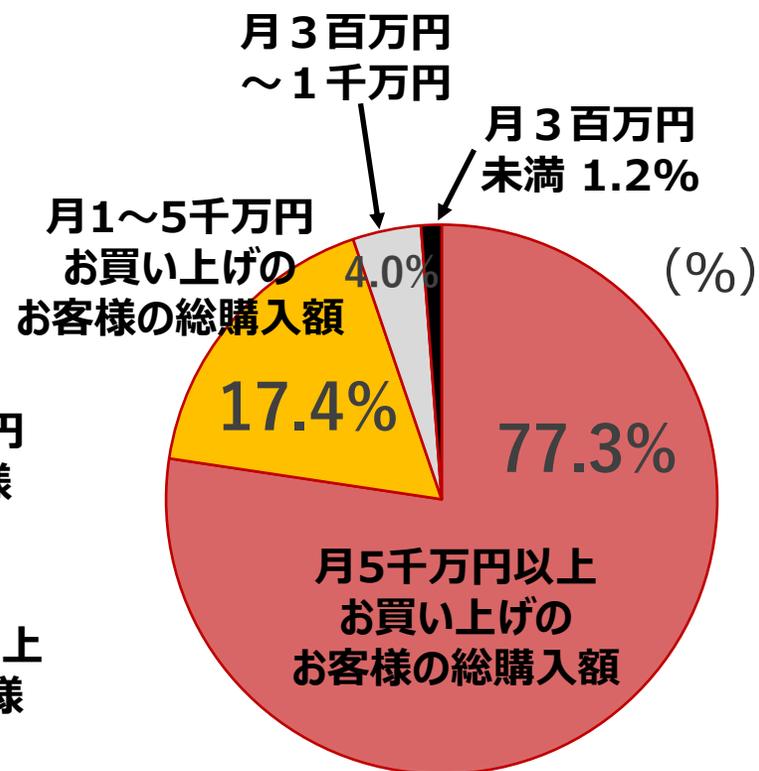


大企業向け直販顧客の企業グループ数※の推移

(社：企業グループ数)



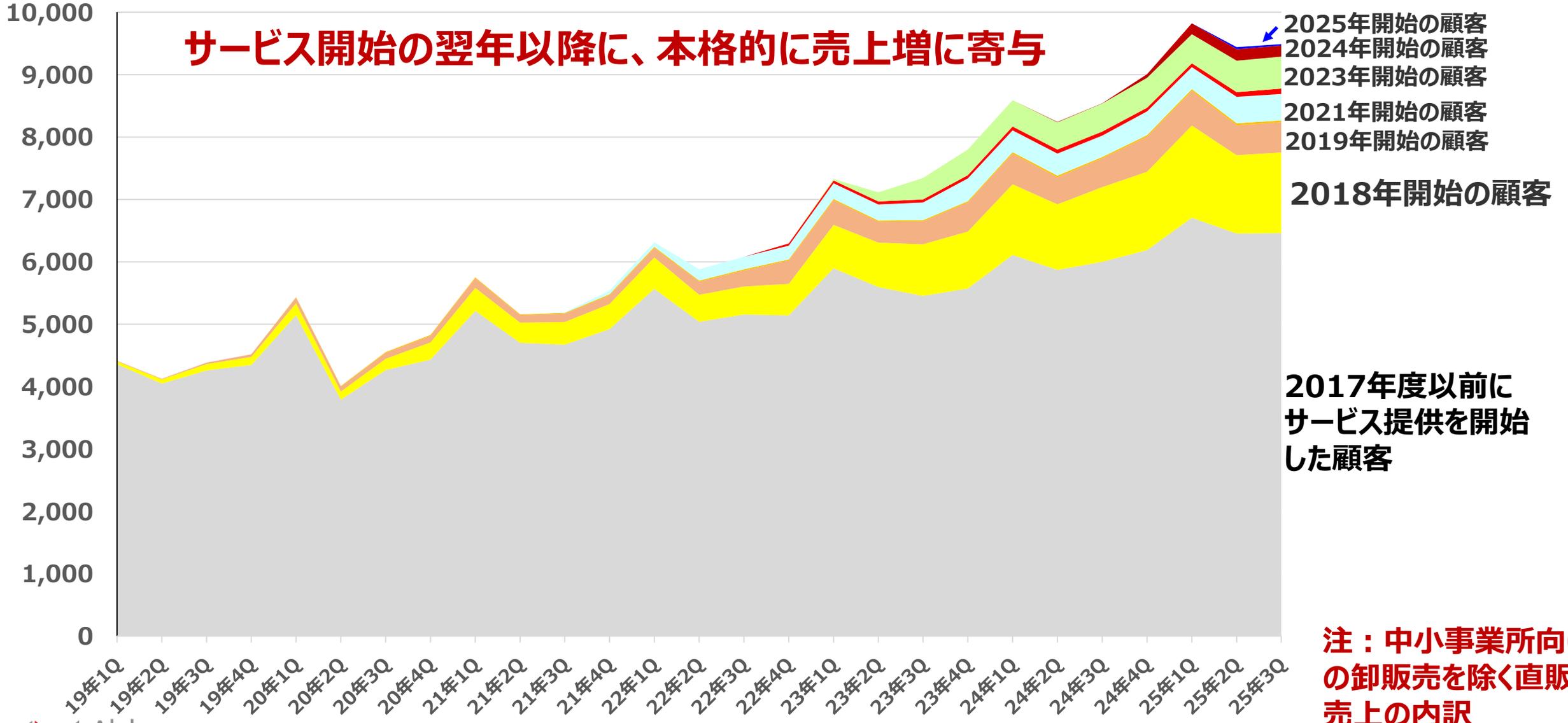
2025年1-3Qの大企業向け直販売上金額構成比



02-7. 大企業向けMRO事業の「契約年度別」売上推移

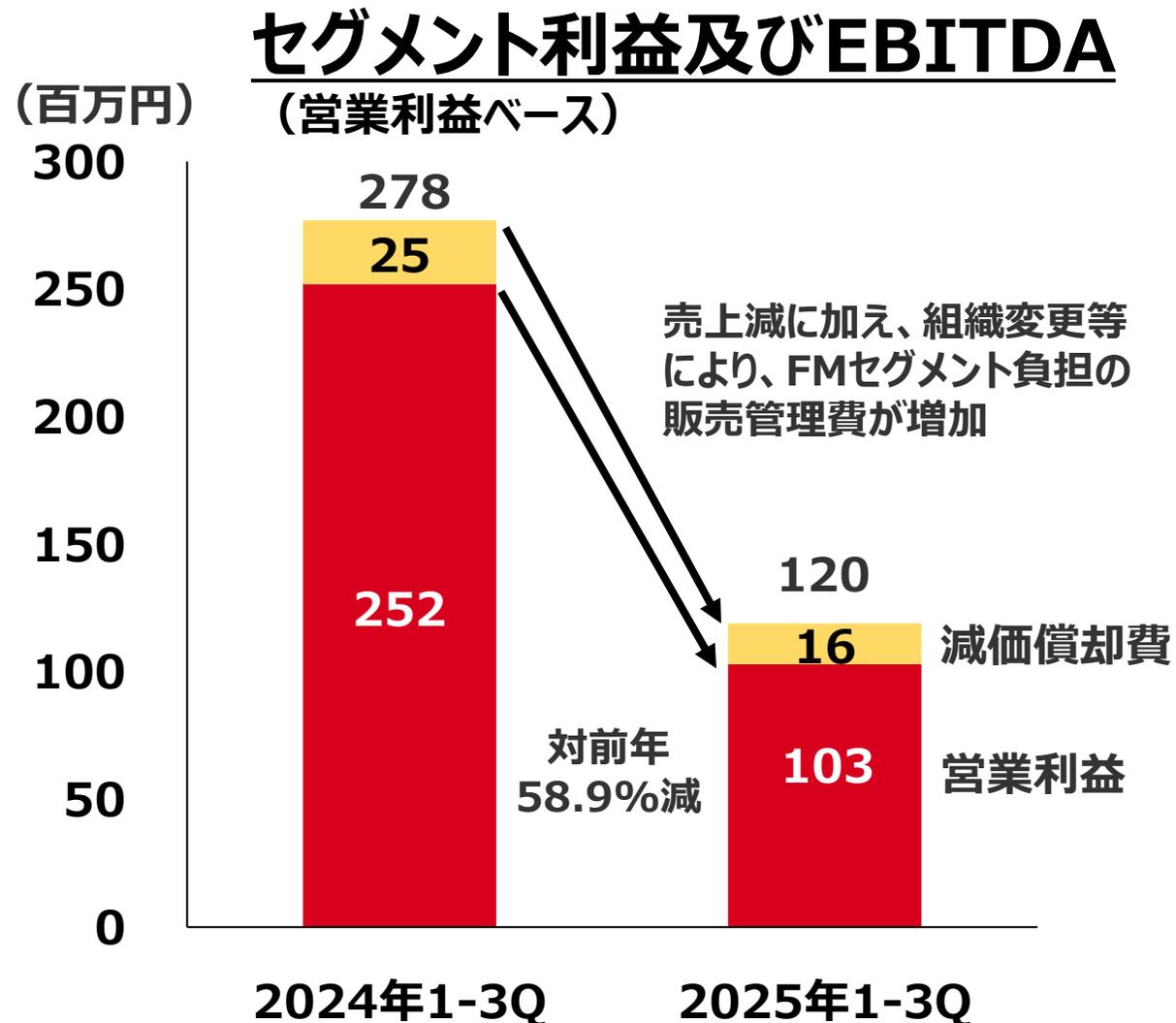
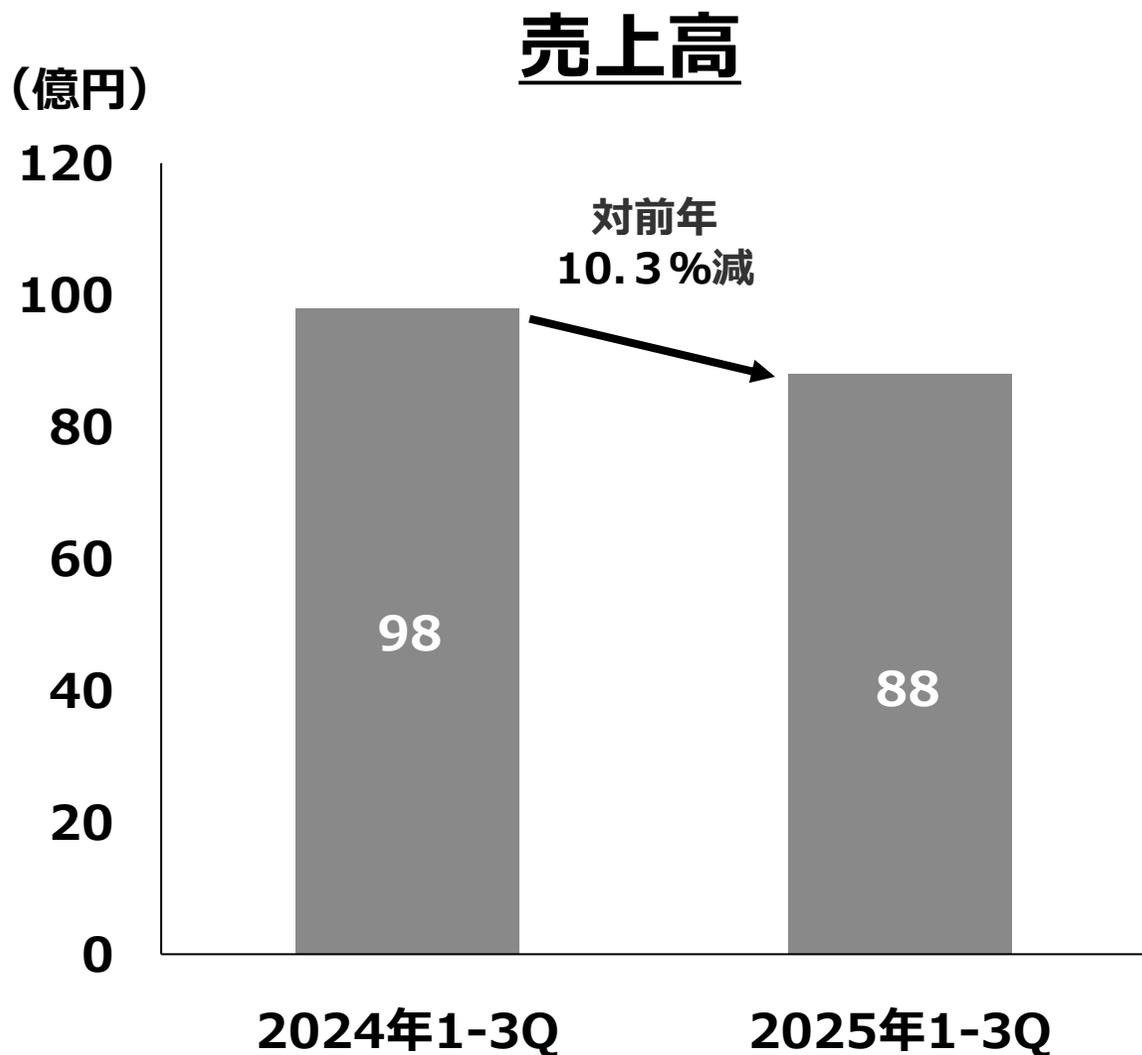
(百万円/四半期)

サービス開始の翌年以降に、本格的に売上増に寄与



注：中小事業所向けの卸販売を除く直販売上の内訳

02-8. FM事業の売上高、利益、およびEBITDA

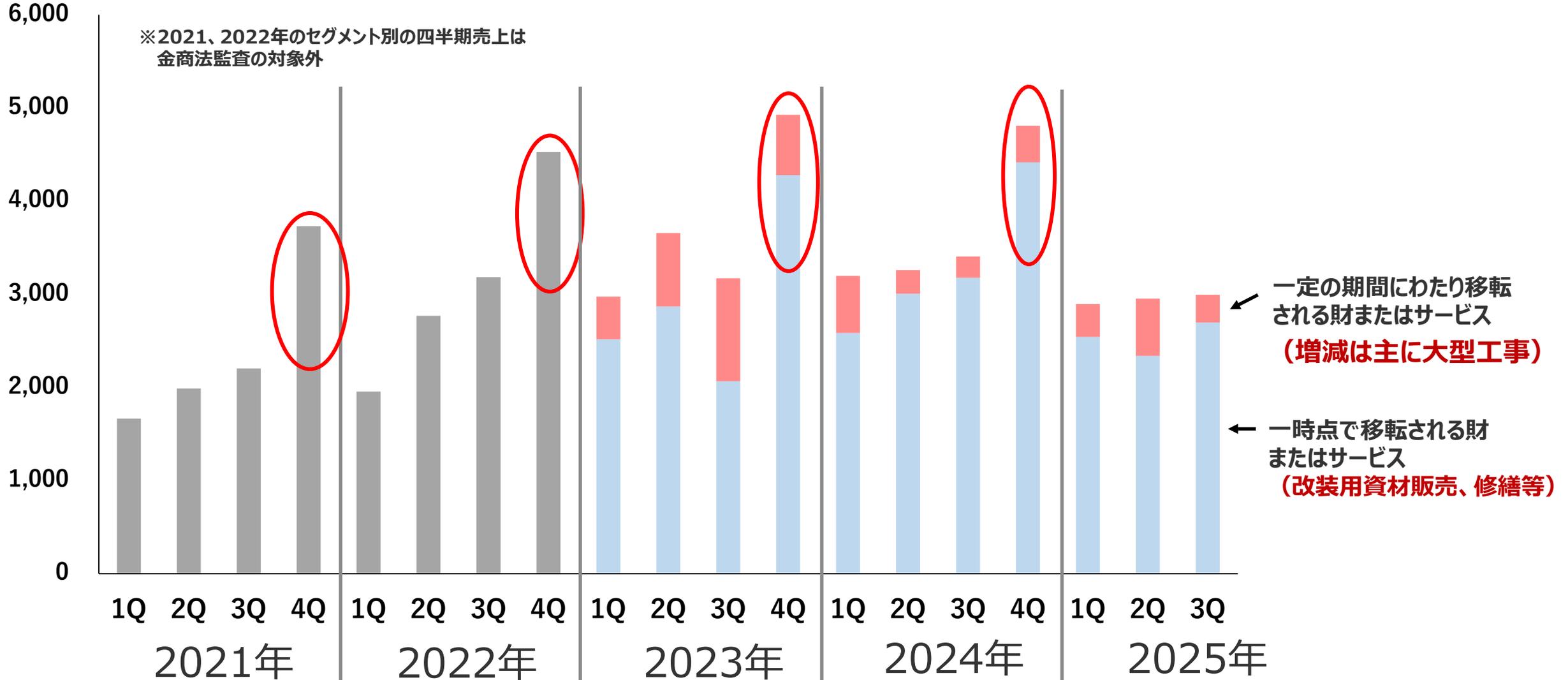


02-9. FM事業の売上の季節性と収益認識基準による売上内訳

売上が第4半期に集中する季節性があり、10-12月は大幅増の見込

(百万円)

※2021、2022年のセグメント別の四半期売上は
金商法監査の対象外



← 一定の期間にわたり移転される財またはサービス
(増減は主に大型工事)

← 一時点で移転される財またはサービス
(改装用資材販売、修繕等)

02-10.2025年12月期 第3四半期累計期間の総括

MRO事業

- ・MROの売上は対前年11.5%増。無限カタログの顧客コストダウン効果を考慮すると、実質14%強の伸び
- ・MRO顧客の多くは3月決算であり、例年9月には上期末「経費予算消化需要」があるが、今年は盛り上がりず
- ・MROのセグメント利益率は、無限カタログの効果により、前年の1.7%から2.6%へと大幅改善

FM事業

- ・FMの売上は対前年10.3%減。顧客の業績は好調だが、好調ゆえに改装計画の来年度への後ろ倒しが多発
- ・当初は、本年、改装案件が急増する予定だったので、期首より人員や在庫を多めに確保した分、固定費増に
- ・FMのセグメント利益率は、売上減、固定費増のため、前年の2.6%から1.2%へと半減

全体

- ・各事業が本年固有の要因で売上苦戦も利益率は前年の2.1%から2.4%へ改善。営業利益22.6%増
- ・利益項目については、本年8月8日に公表済の連結業績予想値の想定を、大幅に上回る進捗

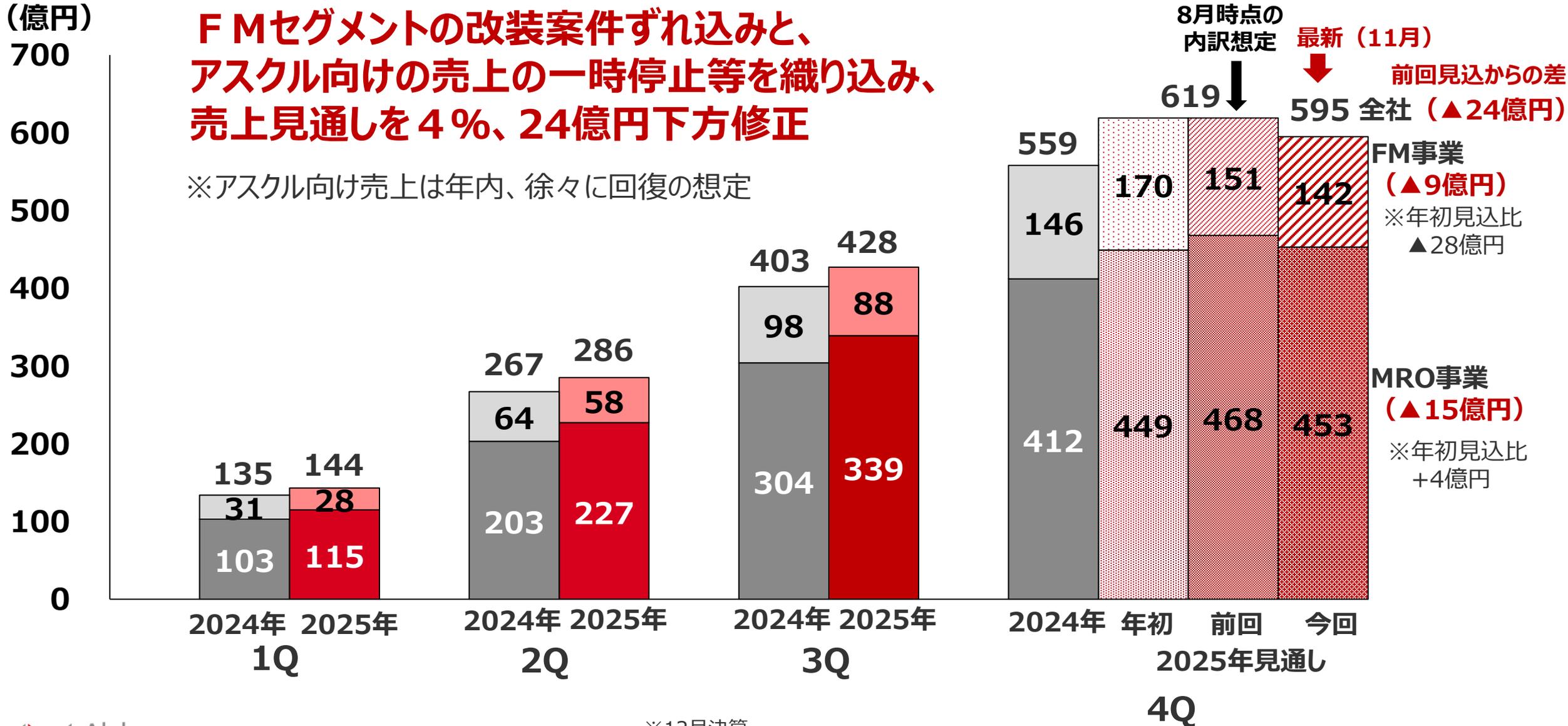
03. 本日公表の通期業績見通しおよび配当予想の詳細

03-1.四半期別セグメント別 累計売上高見通し

(億円)

FMセグメントの改装案件ずれ込みと、アスクル向けの売上の一時停止等を織り込み、売上見通しを4%、24億円下方修正

※アスクル向け売上は年内、徐々に回復の想定



03-2.四半期別セグメント別 累計営業利益見通し

(百万円)

**営業利益見通しは、10百万円下方修正の15億円。
経常利益は営業外損益改善により、15億円に変更なし**

※アスクル向け売上は年内、徐々に回復の想定

8月時点 最新(11月)

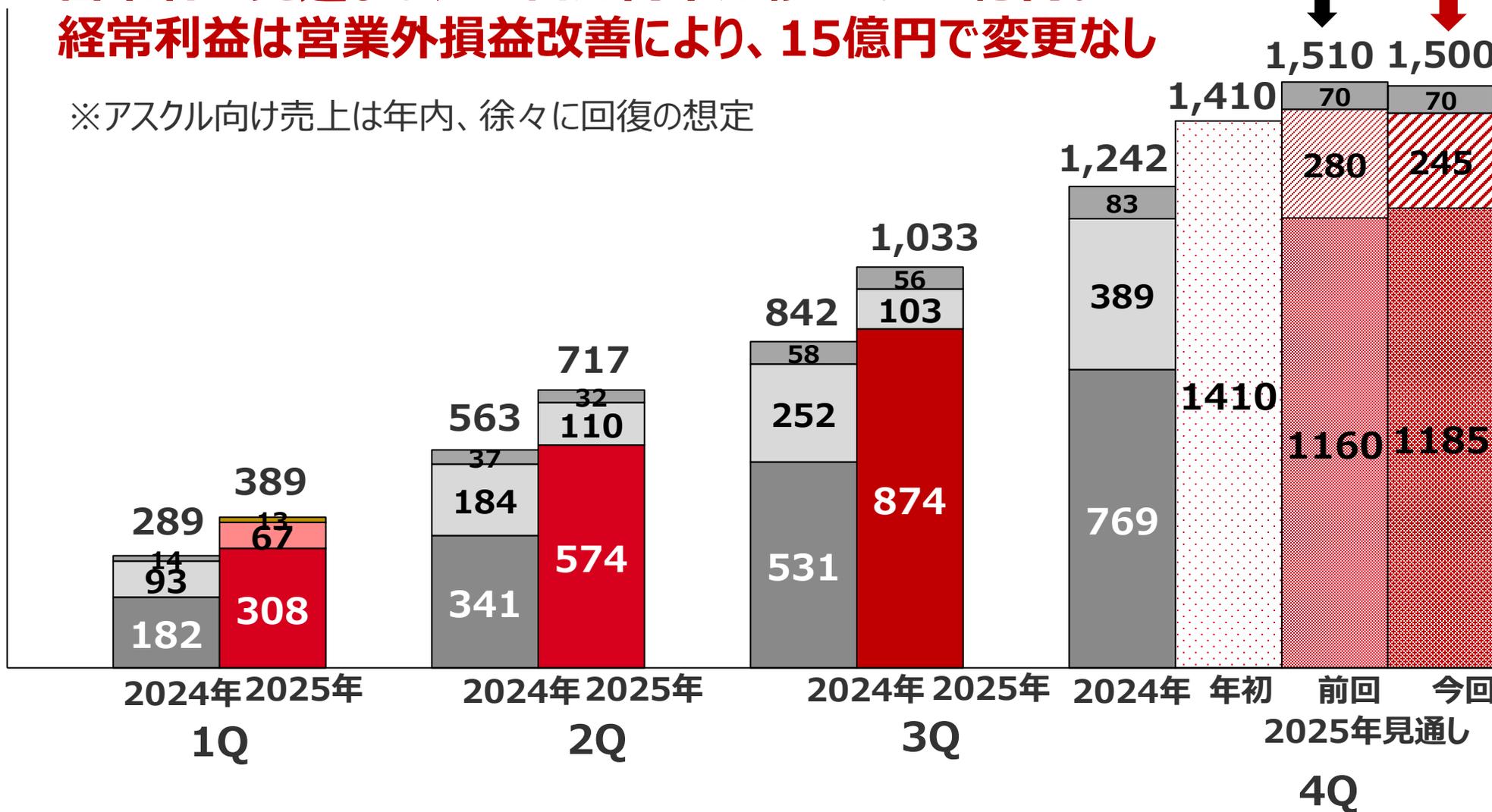
1,510 1,500

全社合計
(▲10百万円)

その他
FM事業
(▲35百万円)

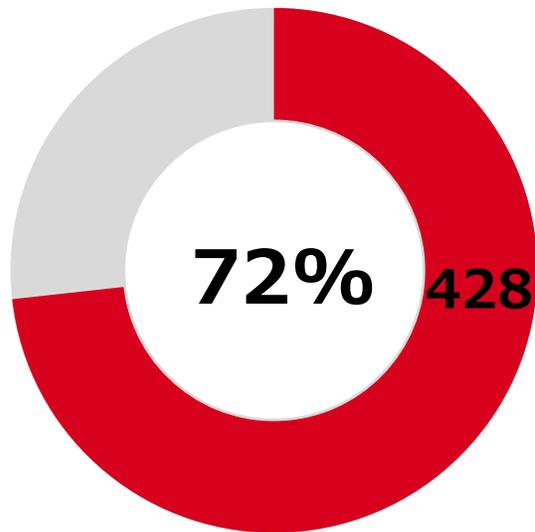
MRO事業
(+25百万円)

+▲の金額は
直近見込からの差

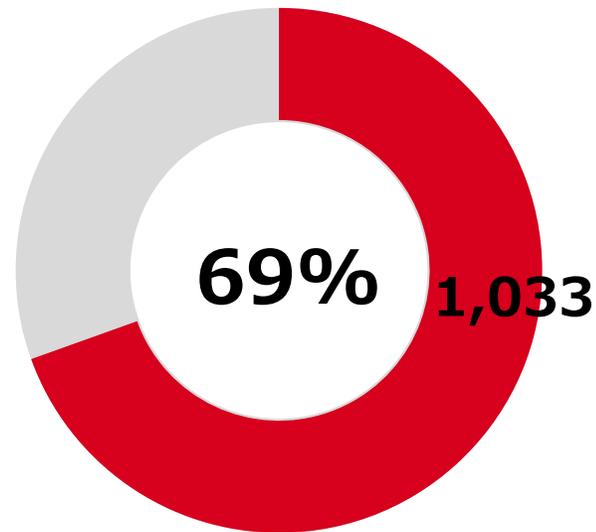


03-3.見通し修正後の対通期見通し比実績進捗率

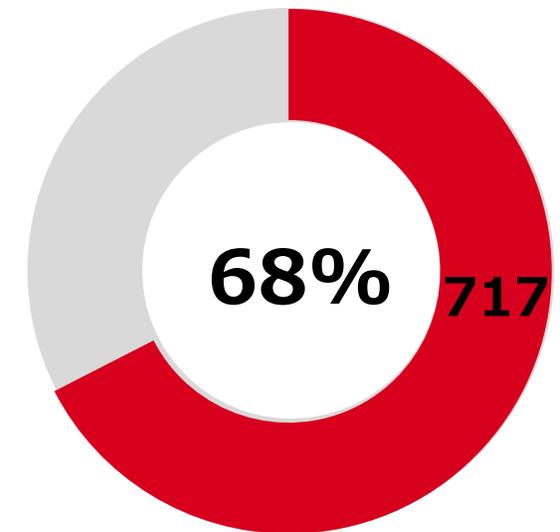
売上高見通しと営業利益のみ変更。経常利益と当期純利益の見通しは変更なし



売上高通期見通し
595 (億円)



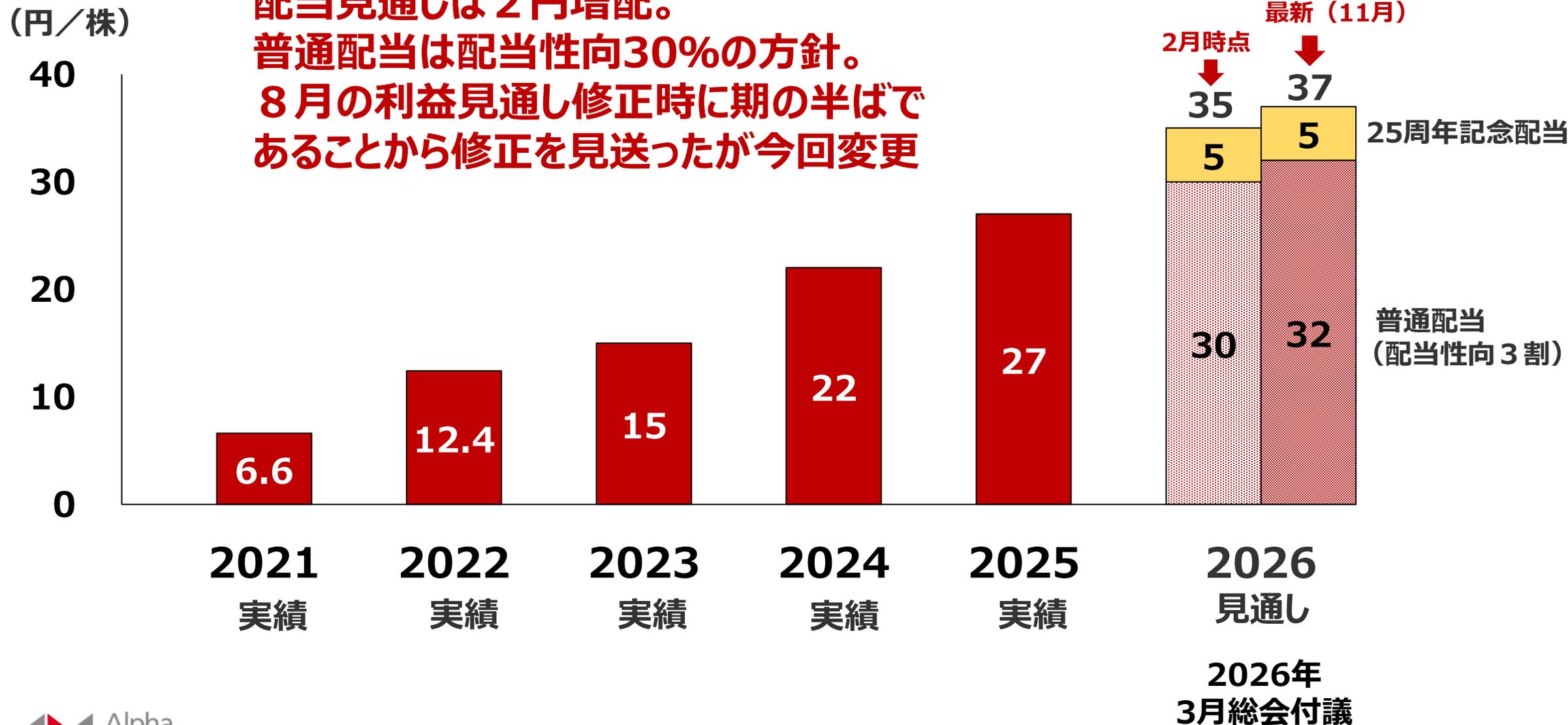
経常利益通期見通し
1,500 (百万円)



当期純利益通期見通し
1,050 (百万円)

03-4.年間配当見通し（支払年ベース）の修正

**配当見通しは2円増配。
普通配当は配当性向30%の方針。
8月の利益見通し修正時に期の半ばで
あることから修正を見送ったが今回変更**





Alpha
Purchase